

組織名	うつのみや市政研究センター
-----	---------------

1 組織概要

所在地	〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号市役所6階 総合政策部 政策審議室 市政研究センター
TEL	028-632-2059
FAX	028-632-7014
URL	http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/machi/kenkyu/index.html
e-mail	専用送信フォームあり
設立	2004年4月1日
設置都市等	栃木県宇都宮市
代表者	三橋 伸夫（所長／宇都宮大学名誉教授）

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	2004年、宇都宮市が抱える行政課題について調査研究し、新しい時代に対応した政策の提案を行うため、総合政策部政策審議室の出先機関として設置した。
見直しの動向	—
役割(2016年時点)	○「調査研究機能」「人材育成機能」「情報収集・発信機能」の3つの機能を持つ。 ○特に調査研究機能については、少子高齢化、分権化、市民の価値観の多様化など、時代の潮流変化へ対応するための、基礎的・専門的、中期的な課題に関する、政策及び施策の調査研究を行う。 ○市の部局における調査研究や政策及び施策立案を支援するため、各種相談、情報提供等を積極的に行う。
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	<input checked="" type="radio"/> 1 自治体の内部組織 <input type="radio"/> 2 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="radio"/> 3 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="radio"/> 4 大学の附置機関 <input type="radio"/> 5 広域連合 <input type="radio"/> 6 その他(具体的に:)
常勤職員数	3人
うち常勤研究員数	3人
非常勤研究員数	3人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部有識者の活用(1を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 3 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 4 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 5 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 6 その他(具体的に: 幅広い識見と地域政策に理解を持つ学識経験者、事業者等構成された企画運営アドバイザーの設置) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない
庶務体制	主として本課(政策審議室)が行い、一部研究所内にて行っている。
市民参加、外部連携	大学との連携(共同研究・勉強会の実施・大学での講義実施など)

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2016年度予算	3,993 千円	
2015年度決算	3,026 千円	
2014年度決算	2,842 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	1. 設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績		
	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	【共同研究】宇都宮市における住宅地の更新とマネジメントに関する考察－空き家・空き地に着目して－	今後縮小が予想される住宅地において、住民の移動(社会動態)と空き家・空き地の発生(空間変化)の関係性について考察した。また住宅地における空き家・空き地のマネジメント活動について調査し、将来の都市形成に向けた政策的働きかけについて検討した。※27年度からの継続研究 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28juutaku.pdf
	宇都宮市内の専修学校と学生の動向に関する調査研究	専修学校は大学に次ぐ高等教育機関として重要な役割を担っており、本研究では若年層の中でも専修学校生に着目し、市内に所在する専修学校に焦点を当て、専修学校の可能性を探るとともに、行政と専修学校の効果的な連携への課題を明らかにし、今後の連携の方向性を提案する。 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28sensyuu.pdf
	市民の健康維持と都市環境づくりに関する調査研究－スマートウェルネスシティの視点から－	本市医療費の約4割を占める生活習慣病と関連の深いメタボリックシンドロームに着目し、近隣環境と運動習慣やメタボとの関係を明らかにするとともに、本市において健康への貢献を視野に入れた都市環境づくりに必要な視点、課題、行政としての取り組みの方向性を明らかにした。※29年度継続予定 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28smartwellness.pdf
	宇都宮市の農村地域における新規就農者の受け入れ体制からみた集落コミュニティの活性化	新規就農者や親元就農者は集落の重要な人材であり、かれらへの就農支援は集落の活性化につながるの考えに基づき、新規就農者の受け入れ体制からみた就農支援上の課題を明らかにし、集落コミュニティの活性化に関する政策について検討した。 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28sinkisyuunou.pdf

	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	宇都宮市におけるクリエイティブ産業と創造都市の可能性	本市の内発的発展の視座として、クリエイティブ産業の育成と創造都市の形成に求められる要素を明確にし、施策に求められる視点、課題を明らかにした。 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28creative.pdf
	宇都宮市における子育て・子育て支援に関する調査研究(研究ノート)	本市における子育て・子育て支援のための更なる環境整備に向けて、地域における子育て世代への支援の仕組みづくりやその課題について検討した。 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28kosodate.pdf
	「生涯活躍のまち構想」の検討を通じた宇都宮市のまちづくりに関する調査研究(研究ノート)	他自治体の動向の整理、本市におけるメリット・デメリットの整理を通じて、本市のまちづくりに対して生涯活躍のまち構想がどのような効果をもたらすのか、検討した。 http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/231/28ccrc.pdf
過去3年間の研究実績 (成果物ベース)	<p><2015年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○宇都宮市における大学生の社会活動促進に向けた調査研究—大学生の意識に着目して— ○女性の活躍推進に関する調査研究—環境整備・起業・社会活動の支援について— ○地域コミュニティにおける多文化共生の現状と課題 ○宇都宮市における中小企業振興策の新たな潮流—企業と地域社会の共生— ○地域経済分析システム(RESAS)の活用と政策形成 ○【共同研究】住宅地における空閑地の発生要因とその利活用に関する研究 	
	<p><2014年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物の保存・活用とその方策に関する研究 ○2020東京オリンピック開催に伴う本市への影響に関する調査研究 ○地域の「居場所」とは何か ○産業構造からみた本市経済の将来的課題に関する研究 ○【共同研究】政策形成における社会調査の活用に関する調査研究(福島大学との共同研究) 	
	<p><2013年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ○超少子高齢化社会に向けた地域コミュニティ形成・維持のあり方 ○既存住宅ストックの有効活用とその方策に関する研究 ○若年層の自立支援に関する調査研究 ○地域の資源を活用したまちづくりに関する研究 ○【共同研究】コンパクトで持続可能なまちづくりの推進に向けた調査研究(宇都宮大学との共同研究) 	
定期刊行物	○「市政研究うつのみや」(年度1冊発刊)	

(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 2 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 3 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 4 貴団体・組織で自ら発案(3を除く) <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 2 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 3 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 4 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 5 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 2 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 3 外部有識者から評価を受けている(2を除く) <input type="checkbox"/> 4 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 6 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	<ul style="list-style-type: none"> ○所長(非常勤) <ul style="list-style-type: none"> ・センター業務の統括 ・研究員の調査研究に関する助言・指導 ○副所長(課長級職員) <ul style="list-style-type: none"> ・センター業務の統括 ・調査研究及び政策形成支援業務 ○研究員 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究及び政策形成支援業務 ・大学連携に関する業務 ・情報収集・発信 ・庶務的業務 ○専門研究嘱託員(非常勤) <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究及び政策形成支援業務 ・情報収集・発信
研究員の専門性 育成の手立て	<p>市人事課主導による職員研修によって行政職員としての能力開発に努めているほか、庁外で実施されている研修やシンポジウム等への参加、研究実施における外部の有識者のアドバイス等によって、政策形成能力の向上に努めている。</p>
研究員のキャリアパス等	<ul style="list-style-type: none"> ○公募制は実施しておらず、一般の人事異動で配属される。 ○過去のキャリアパス例 <ul style="list-style-type: none"> i) 資産税課→財政課→下水道管理課→経営企画課→地域政策室→中央卸売市場→平石地区市民センター ii) 保険年金課→文化課→三菱総合研究所派遣→政策審議室→保健福祉総務課→自治振興課→人事課→保険年金課 iii) 納税課
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○政策形成アドバイザーの派遣: 学識経験者をアドバイザーとして派遣し、庁内各部門での高度な政策立案や新たな行政手法の開発、導入に係る調査・研究を支援している。 ○3229(身につく)勉強会の開催: 学識経験者を囲んだ、少人数の職員勉強会(ゼミ方式)の開催している。 ○市提供講義「実践・宇都宮のまちづくり」の実施: 国立大学法人宇都宮大学において、本市が取り組むさまざまな施策・事業等についての講義を実施している。 ○その他の相談支援 <ul style="list-style-type: none"> ・政策立案基礎データの案内・提供など ・みや研GISを用いた庁内業務の支援